

第2回政府現地対策本部会議・第5回熊本県災害対策本部会議 議事録

日時 平成28年4月15日（金） 17:00～

場所 県庁新館8階 職員研修室

1 地震の状況

（気象台から報告）

2 被害の状況

死者9名。

住家被害については、調査中。

救出・救助、捜索の状況については、現時点では行方不明者、生き埋め者の情報は入っていない。益城町を中心にローラーで捜索を実施中。

12,300戸が停電。

3 政府現地対策本部長の発言

（松本副大臣）

地震発生後、初めての夜を迎える。皆さんもお疲れと思うが、被災者の皆さんを勇気づけることをしっかりやってもらいたい。食料、毛布等の供給もお願いする。

メディアの方には、今後、雨が予想されるので二次災害に注意を呼び掛けてもらいたい。

本日、国道443号の瓦解現場を見てきた。現在応急対応中。何とか明日中に1車線でも復旧させるということ聞いて有りがたいと思った。

町役場に向かったが、そこまでの道路が動かない。早急の改善が必要。原因を究明し、一両日中に着手する必要がある。

水道も町が、一度、開いて漏水をしているところを見て、対応していくしかないとおっしゃっていた。

明日は安倍総理が現地に入る予定。国が全力で対応する。

被災から抜け出すために積極的な提言をお願いする。

4 県災害対策本部長の発言

（蒲島知事）

昨日の震度7の地震により、非常に大きな被害が発生している。県警が把握している情報によると、9名の方々の尊い人命が失われ、その他に1,000名余りの方が怪我をされておられる。この他に、依然として7,000人以上の方々が避難されている。

引き続き大きな余震に警戒する必要があることや、今後まとまった雨が予想されていることから、土砂災害等にも警戒しつつ、引き続き人命救助・被災者支援に全力を尽くしていただきたい。

このような中、企業や関係団体の皆さまによる支援の輪が広がっている。

例えば、熊本県建設業協会による建設資器材の提供、道路の啓開作業、肥後銀行やファミリーマート、熊本県パン協同組合、鶴屋百貨店、ホンダ、イズミなどから水や食糧の提供、熊本県トラック協会による支援物資の輸送がなされている。

この他、「えがお」などの企業による避難者の受け入れもなされるなど、多くの支援をいただいておりますから感謝申し上げます。

やがて、発災から20時間近くが経過し、被災者の皆さんにも疲れが見えてきていることから、官民力を合わせて支援に努めて頂きたい。

5 県等の対応状況

(総務部)

税の災害減免の措置を本日スタートした。

消防を含めた各救助機関で活動をお願いしている。

(企画振興部)

九州新幹線は止まっているが、博多～熊本間で臨時列車を運行しているため、見合わせている区間は、熊本～八代間となっている。

バス関係では、前は都市バスで一部運休があったが、迂回運行している。

フェリー関係で、九商フェリーは可動橋が破損しているため、15日は全便欠航であるが、長引く可能性がある。代替運送として、有明フェリーが3便の増便がある。

(健康福祉部)

物的被害について、高齢者、障がい者、保育所関係の数字が全体で増加している。

物品提供について、大塚製薬様から18万本の飲料水の提供あり、本日、益城町に送ることになっている。

(環境生活部)

水道施設について玉名市及び合志市で濁水が発見され、給水車等により対応中。

断水戸数について、資料では、約6万9千5百となっているが、益城町の数字が入っていなかった。正しくは、計8万5百戸が現在の数字。

廃棄物処理施設について、焼却炉等、破損が見つまっている。

(商工観光労働部)

避難所への物資の提供についてイズミが提供開始。

観光について、熊本市は調査中であるが、それ以外では、キャンセル数が3,486名、外国人観光客126名という集計が出ている。

(農林水産部)

林業関係で、上益城で3カ所、阿蘇で2カ所の山腹崩壊が確認された。

J Aグループから資材の提供が始まっている。

(土木部)

国道443号も含めて少しずつ復旧対応中。

県では、益城町の建築被害の特に大きかった地域において、被災した建築物を現地で調査して、その危険性を判定する応急危険度判定を開始している。2次的被害を防止することを目的としており、倒壊の危険性があるものは赤のカード、立ち入る際に注意を要するものは黄色のカード、被害の程度が小さいものは緑のカードで表示する

ことになる。概ね1週間で判定を行い、明日からは県内外の建築士の協力を得て、1日、概ね50名から60名の体制で進める。

(企業局)

有明工水について状況確認したところ、全社操業に問題なし。

駐車場について、商工会館の傾いている部分の撤去方法について検討中。駐車場の建物自体の躯体への重大な損傷はなし。企業局が管理するダムについては、全て異常なし。

(教育庁)

県立学校では、54校中22校が被災。特別支援学校17校中9校が被災。市町村の公立学校については、46市町村のうち21市町村が被災している。

熊本市の被災が多くなっているが、益城町については、まだ、電話での確認であり、今後増えていくものと思われる。

6 国等の対応状況

(内閣府)

第1回非常災害対策本部会議が、4月14日の23時21分に開催。第2回が本日の8時8分。第3回は本日の16時7分に開催。

明日は、内閣総理大臣及び国交大臣が現地入り。

(自衛隊)

2,000名を動員して対応中。

(警察庁)

消防、自衛隊と協力して捜索活動実施。併せて防犯活動も実施。

(国土交通省)

九州縦貫道のえびの・松橋間が開放。南九州西回り自動車道も開放。

問) 国道に関しては、高速道路以外は目処がたったのか。(政府現对本部長)

答) 国交省所管の道路については、そのとおりである。(国交省)

意見) 物品の提供があるのに、益城町役場へのアクセスが機能しない。これを何とか解決したい。被災者が頼っていくところなので対応をお願いする。(政府現对本部長)

問) 電気復旧の方向性について報告願いたい。(政府現对本部長)

答) 停電については本日中の復旧を目指している。避難所で停電している箇所については、非常用電源車で対応する。(九州電力)

意見) 阪神・淡路大震災時は通電時に火災発生というケースがあったので注意をお願いする。(政府現对本部長)

(気象台)

明日から明後日の気象情報について、16日夜から17日にかけて大雨になる恐れがある。地震で揺れの大きかった地域では、土砂災害に注意していただきたい。

7 小野副知事の発言

益城町役場周辺は道が狭く渋滞が予想されていた。必要な物資が届かないこととなるので、早急に国交省、警察及び県土木部と協議して、交通規制をどうすべきなのか検討すべき。

(以 上)